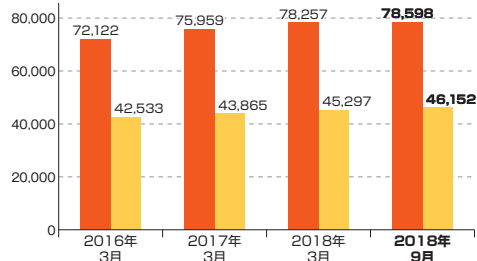


業績ハイライト (2018年度中間期)

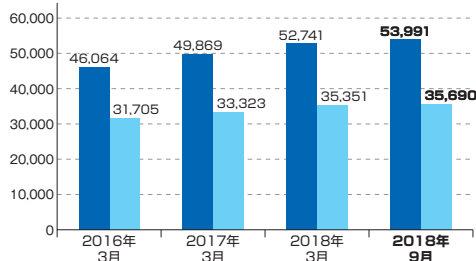
● 預金・譲渡性預金

(億円) ■ 預金・譲渡性預金 ■ うち個人預金



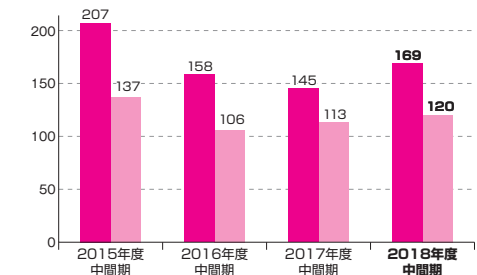
● 貸出金

(億円) ■ 貸出金 ■ うち中小企業等貸出金



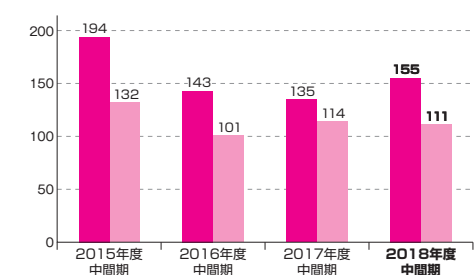
● (連結) 経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益

(億円) ■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する中間純利益



● (単体) 経常利益・中間純利益

(億円) ■ 経常利益 ■ 中間純利益



■ 2018年度中間期(2018年4月1日~2018年9月30日)の業績について

残高項目では、預金・譲渡性預金残高は7兆8,598億円(期中340億円増加)、貸出金残高は5兆3,991億円(期中1,249億円増加)となりました。また、第6次中期経営計画の目標の1つである投資信託残高と京銀証券預かり資産残高の合計額は2,587億円(期中239億円増加)となりました。

収益面では、当行グループ全体での経常利益は169億円(前年同期比23億円増加)、親会社株主に帰属する中間純利益は120億円(前年同期比7億円増加)となりました。また、当行単体での経常利益は155億円(前年同期比20億円増加)、中間純利益は111億円(前年同期比2億円減少)となりました。

配当金につきましては、安定配当の継続を基本とする方針に基づき、中間配当は1株当たり30円、期末配当についても30円を予定しており、年間では60円を予定しております。

第6次中期経営計画(2017年度から3か年)

Timely & Speedy

～お客さまが必要とされるサービスを速やかに提供いたします～

2017年4月より、第6次中期経営計画「Timely & Speedy」を進めております。

本計画では、お客さまのこころを動かすサービスを日々重ねることで、「お客さまの期待に応える京都銀行」として、揺るぎない地位を確立し、京都銀行グループ各社とともに、大きく、力強く飛躍する3年間にすることを目指しております。

<メインテーマ>

コンサルティング機能の発揮～つなげる～

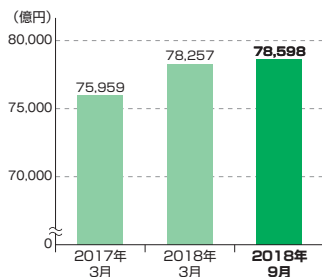
<主要計数計画> (計画最終年度)

- 預金+譲渡性預金残高：8兆円
- 投資信託+京銀証券預かり資産残高：5,000億円
- 総貸出金残高：5兆7,000億円
- 当期純利益(連結)：200億円以上

<計画進捗状況> (2018年9月30日現在)

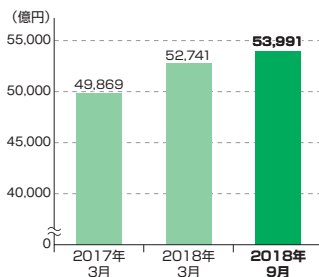
● 預金・譲渡性預金

7兆8,598億円



● 貸出金

5兆3,991億円



● 投資信託残高+京銀証券預かり資産残高

2,587億円

